

タイトルタイトルタイトル

Title Title Title

研究 太郎 / Taro Research

1 はじめに

大学でもっとも重要なのは論文・レポートを作成するという
ことである。論文をきちんと書く能力を身につけずに
社会に出ることは、大学卒の肩書きはあってもその能力に
欠けているということを示すものに他ならない。というの
も、論文を執筆するという作業は、自らの思考を論理的に
構築し、それを他者（読者）に伝達する「プレゼンテーショ
ン能力」「コミュニケーション能力」そのものであり、多少、
口先がうまいという程度ではなく、きちんとしたリサーチ
と分析・理解を踏まえた、論理的な思考の構築の過程を表
現することが求められるからである。

2 図表のベストプラクティス

L^AT_EX を使いこなすにあたり、図表の活用は重要である。
基本的には LaTeX Wiki [1] を参考にすれば問題ない。

2.1 図

図を挿入する場合は、図 1 や図 2 のように引用すること
ができる。図の横幅が大きい場合は、図 2 のようにするこ
ともできる。

ちなみに、L^AT_EX ではベクターファイルとして EPS ファ
イルを推奨していた頃もあったようだが、現在は PDF ファ
イルを使用することが推奨されている。PDF ファイルに出
力するのが前提なら、dvipdfmx では PDF, PNG, JPEG が
そのまま使用できる。dvipdfmx は EPS ファイルそのもの
を自分で扱えないので、Ghostscript を内部で呼び出して変
換する。PDF ファイルで問題がなければ EPS にこだわる
必要はないと思われる。ただし、ジャーナルによっては図
として PDF を使うのがダメだったりするので慎重に。

2.2 表

表は表 1 のように引用することができ、表を作成する場
合は罫線を少なくすることと、横線のみの使用を心がける
ことが推奨される。

3 研究者にとっての論文十箇条

論文を書くことは大切だ必要だ、と周囲から言われる。
それは自分でも分かっているつもりだけど、その理由を
はっきりと伝えてもらえる機会は少ない。研究者にとって
の論文十箇条 [2] は、とてもシンプルでわかりやすく、非
常に心にきた。一度目を通して見るべきであろう。



図 1 悩む男の子

表 1 代表的なデータの型

| データの型 | 宣言 | ビット幅 |
|---------|-------------|------|
| 文字型 | char | 8 |
| 整数型 | int | 32 |
| 倍精度実数型 | double | 64 |
| 倍々精度実数型 | long double | 96 |

- 書かれた論文は書いた人の研究者としての人格を表す
- データのみ出して論文を書かない者は、テクニシャンである
- データも出さず、論文（原著論文）を書かない者は、評論家である
- 研究者は論文を書くことによって成長する。また、成長の糧にしなければならない
- 論文は研究者の飯のタネである
- 論文は後世の研究に影響を与えなければならない
- 研究者は書いた論文に責任を問われる
- 忙しくて論文が書けないというのは、言い訳にはならず、能力がないといっているのと同じである
- 博士論文以上の論文を書けない者は、その博士論文は指導教官のものといわれても仕方がない
- 研究において最も重要なのはアイデアであり、それが試されるのが論文である



図2 ドライブする家族

参考文献

- [1] Latex Wiki (<https://texwiki.texjp.org/?LaTeX%E5%85%A5%E9%96%80>).
- [2] 渡辺 豊, "角皆静男先生のご逝去を悼む", 地球化学, vol.50, no.1, pp.1-3, 2016.